

令和6年度 気象防災 アドバイザー育成研修



- ・オンライン研修（Web研修）
- ・気象台でのプレゼン発表

気象予報士の
価値が輝く

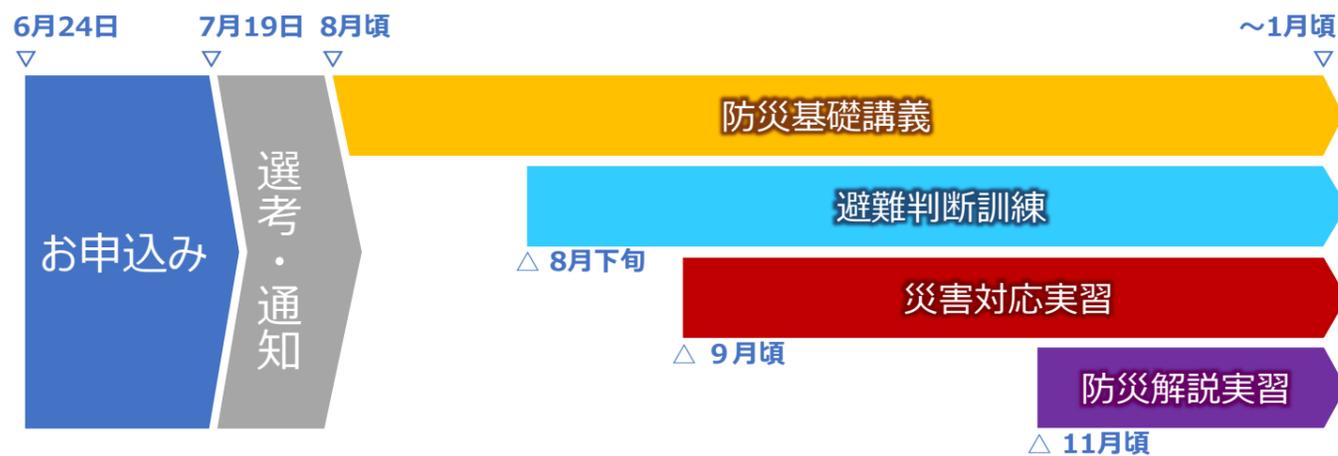
あなたの気象の専門知識が 地方公共団体の迅速かつ適切な防災対応につながる

地方公共団体における災害対応時には、避難情報の発令について迅速な判断が求められています。本研修では、気象予報士等の方に国のガイドラインに基づく避難情報発令の判断方法を習得いただくことで、限られた時間の中で、予報の解説から避難の判断までを一貫して扱うことのできる地方公共団体の即戦力となる人材を育成します。

修了者は、国土交通大臣から「気象防災アドバイザー」を委嘱され、国の防災基本計画に基づき活動いただけます。地方公共団体の職員として採用された場合には、首長に避難情報の発令を進言するなど、地方公共団体の取るべき防災対応について明確なビジョンを提示することができる気象防災のスペシャリストとして地域の防災力向上に地元の気象台と一体となって貢献いただけます。

研修スケジュール

研修は下記の日程で行います。具体的な日時等は別途、研修生に通知します。



主 国土交通省
気象庁
Japan Meteorological Agency

企画・運営
Science Craft
株式会社 サイエンスクラフト

研修コーディネーター
牛山 素行
静岡大学
防災総合センター教授

募集概要

※募集の詳細は募集要項をご確認ください。

■ 応募資格

気象予報士の資格を有する者

■ 定員

60名程度（選考の上で決定します。）

■ 受講方法

- ・録画配信型の講義・訓練 学習管理システム（LMS）を利用したeラーニング
- ・リアルタイム型の演習 Web会議システム（Zoom）を利用したオンライン会議
※ 平日と休日の2回同じ内容を実施し、録画も用意することで、研修生が確実に履行できるよう配慮します。
- ・気象台における実習 研修生が地元の気象台に出向いてプレゼン発表
※ 平日に実施する予定です。研修生と気象台の双方の都合のよい日時を調整させていただきます。

■ 受講料

10,000円（税込）

※ 振込手数料及び実習を実施する気象台までの交通費・宿泊費等は、ご自身でご負担いただけます。

研修概要



気象防災アドバイザーに求められる災害や避難に関する基礎的な知識・技能・姿勢を習得するための講義です。
土砂・洪水・高潮・地震・津波・火山災害の発生メカニズムのほか「予測に反して降流域状降水帯の恐ろしさ」「地形から災害リスクを読み取る」「大川川からの背水による支川氾濫」「防災関連の法制度と計画」「地方公共団体の防災対応」等について、一流の講師陣による講義を通じて学習します。

1. 防災基礎講義

録画配信型の講義
約30時間



市町村の防災の現場で、限られた時間の中で予報の解説から避難の判断までを一貫して担う気象防災アドバイザーとして必須となる避難情報発令に関する知識・技能・姿勢を習得するための訓練です。
防災気象情報から、内閣府の「避難情報に関するガイドライン」に沿って対象区域を絞り込んで避難情報発令を判断する方法を、過去の災害事例を用いた体験型の訓練プログラムを通じて学習します。

2. 避難判断訓練

録画配信型の訓練
約20時間



市町村における災害対応に習熟するための演習です。
現場経験の豊富な有識者の指導の下、市町村長に避難情報発令について進言したり、住民に求める避難行動について記者会見で説明したりするロールプレイを行い「災害対策本部・記者会見における災害エグゼクティブや防災気象情報やハザードマップを活用した災害対応」について参加型のリアルタイム演習を通じて学習します。

3. 災害対応演習

リアルタイム型の演習
約30時間



地方公共団体の現場で即戦力となる実力を養成するための実習です。
地元気象台において職員を住民や地方公共団体職員に見立てた模擬の防災出前講座や防災演習ワークショップを実施し、これまでの研修を通じて講師から学んだ予報及び降流域状降水帯の恐ろしさ「地形から災害リスクを読み取る」「大川川からの背水による支川氾濫」といった内容を、研修生自身が講師役となって解説し、1～3で習得した知識・技能・姿勢の定着を図ります。

4. 防災解説実習

気象台における実習
約2時間×3回

- ・研修の詳細については、ホームページにて提供いたします。
- ・研修修了をもって地方公共団体での雇用に直結するものではありません。一般的な就職と同様に、気象防災アドバイザーが自ら就職活動を行っていただく必要がありますことにご留意ください。

お申込みはこちら

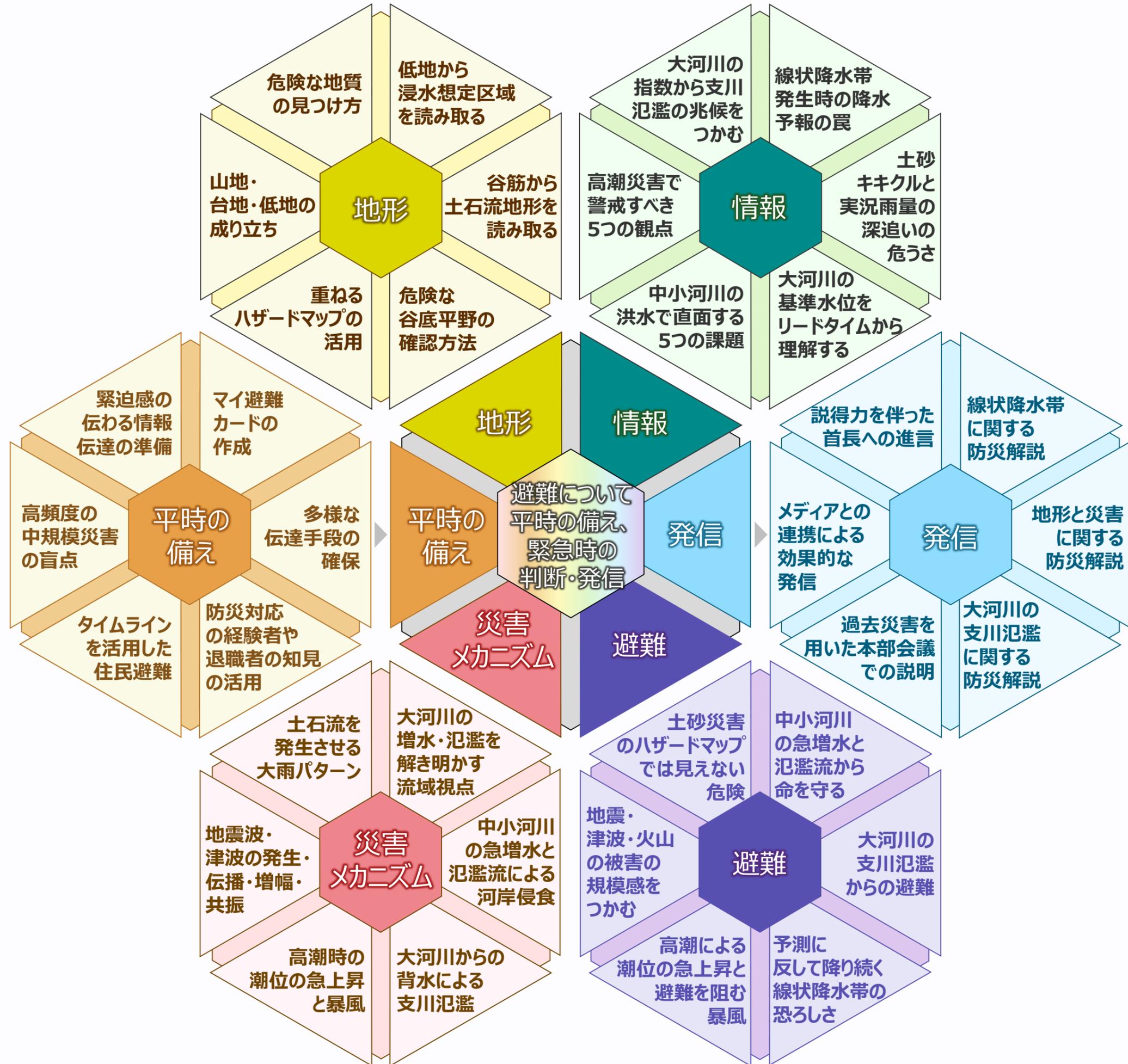
<https://scraft.co.jp/jma-kenshu/>



期限

令和6年7月19日（金）17:00

令和6年度気象防災アドバイザー育成研修 習得する知識・技能・姿勢



受講方法

防災基礎講義
避難判断訓練

ホームページから「LMS」（学習管理システム）にアクセスして動画を視聴します。期間中はいつでも受講可能です。

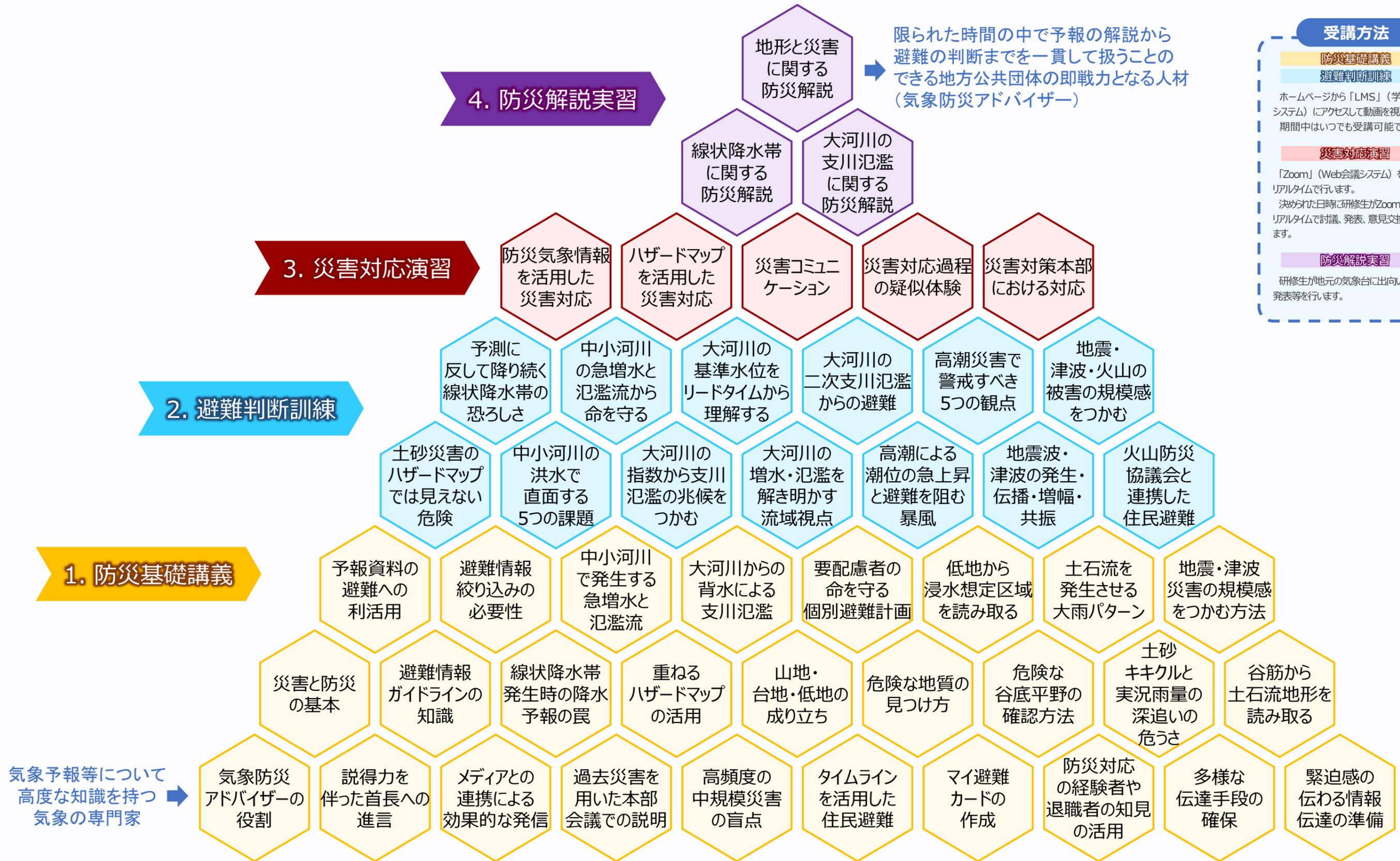
災害対応演習

「Zoom」（Web会議システム）を使用して、リアルタイムで行います。決められた日時で研修生がZoomに集合してリアルタイムで討議、発表、意見交換等を行います。

防災解説実習

研修生が地元の気象台に向いてプレゼン発表等を行います。

令和6年度気象防災アドバイザー育成研修 カリキュラム



受講方法

防災基礎講義
避難判断訓練
 ホームページから「LMS」(学習管理システム)にアクセスして動画を視聴します。期間中はいつでも受講可能です。

災害対応演習
 「Zoom」(Web会議システム)を使用して、リアルタイムで行います。決められた日時研修生がZoomに集合してリアルタイムで討議、発表、意見交換等を行います。

防災解説実習
 研修生が地元の気象台に向いてプレゼン発表等を行います。

※ 研修カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。